

Assist [認知症]

アシスト

認知症治療に携わる医療関係者に役立つ情報を提供

薬剤師の方へ

寄り添う 対応編

認知症の人とご家族に寄り添う

薬剤師のための 認知症の人に寄り添う 対応情報

[監修] 九州大学病院 精神科神経科

診療准教授 小原知之 先生

認知症の人の不安を やわらげる対応の例¹⁾

○ 安心させる対応



認知症の人の気持ちを想像する

「自分の順番だとわかって安心したいのかな」
「いつお薬をもらえるかわからず不安なのかな」

1

2 認知症の人に調子を合わせる

3 自然な対応に、認知症の人が安心する

4 精神的に安定する

5 症状がおさまってくる可能性もある

そうですね。

今、私が
呼ばれましたよね？

自分が呼ばれたと
勘違いしている場合



[監修] 九州大学病院 精神科神経科 診療准教授 **小原知之** 先生

これからの薬局薬剤師には、服薬指導を通じて認知症の疑いがある人に早期に気づき、かかりつけ医と連携して対応することや、認知症の人の状況に応じた服薬指導などを適切に行うことが求められています。

また、地域に存在する薬局が認知症の相談を気軽にできる場所となることも重要です。

薬局薬剤師に求められていること²⁾

認知症の人の感情、思い、プライドに配慮した対応を心がけることが大切です。認知症の人にも「うれしい」、「楽しい」、「心地よい」、「悲しい」などの感情や期待、プライドは持ち続けています。

認知症の人に、子どもに話しかけるような口調で話しかけたりせずに、認知症の人の感情や思いを十分に尊重し、プライドを傷つけないように言葉遣いなどにも気を配りましょう。

アルツハイマー型認知症は身近な疾患²⁾

周りの人が認知症の人に対して「なんだかおかしい?」と感じる変化の多くに、もの忘れがあります。もの忘れは認知症を早期に発見するための重要な症状です。その他にも、覚えが悪くなったり、勘違いや苛立ちをするようになるなどといった変化で認知症に気づくことがあります。

また、アルツハイマー型認知症はありふれた疾患であるため、自分が対応している患者さんのなかにもいるはずだと思い、積極的に発見しようと思う意識が大切です。

もの忘れを判断するための会話例²⁾

薬剤師

「そういえば、今年でおいくつになるのですか?」

認知症
の人

「ええと・・・。」

上記のような聞き方では、日常的な会話の延長上でたずねることができるので、本人のプライドを傷つけることなく、病的なものの忘れであるかどうかを調べられます。

認知症の人への対応の基本¹⁾

言葉と表情を一致させる

話の内容を理解するのが難しくなり、相手の気持ちを表情や様子からとらえることが多くなります。穏やかな態度、優しい表情で対応しましょう。

Good



認知症の人を見下す えらそうな態度をとる

理解力などは衰えても、感情はあることを忘れずに対応しましょう。認知症の人を傷つけるような態度は避けましょう。

NG



怒ったりせかしたりするような 態度、乱暴な動作

相手が怒っている理由がわからないため、「怒られた」ことに対する不快感やおびえだけが残ってしまいます。

呼ばれたら早く来て下さい!

NG



暴力をふるう

言葉の暴力や、そのようなそぶりを見せたりしてはいけません。

認知症の人には理由がわからないため、恐怖感はとても大きく、「いやな人」、「こわい人」という存在になってしまう可能性があります。

絶対に
NG!!

できていますか?

認知症の人に対応する時に 心がけたいことチェックシート³⁾

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 自尊心を傷つけない | <input type="checkbox"/> 間違ったことをしても怒らない |
| <input type="checkbox"/> 子ども扱いしない | <input type="checkbox"/> 失敗しても責めない |
| <input type="checkbox"/> できるだけ楽しく、笑顔を忘れない | <input type="checkbox"/> 時間がかかっても、本人ができることは、自分でやらせよう |
| <input type="checkbox"/> 正面から声をかける | <input type="checkbox"/> 話を聞く時は真剣に聞く |
| <input type="checkbox"/> ゆっくり、はっきり、シンプルに話す | |

認知症の人が怒ってしまう原因について²⁾

認知症の人には、勘違いや苛立ちがみられます。そのため、より集中しようとして疲労感が高まり、その疲れからちょっとしたことに怒りやすくなったりします。

認知症の人は、自身のもの忘れや勘違い、苛立ちを他人に指摘されるとイライラしたり、怒ったりしてしまうことがあります。また、認知症の症状ではなく、認知症の人のご家族や周りの人からの言動や態度が原因で怒ってしまい、暴言や暴力を引き起こすことがあります。

認知症の人の心理を理解して対応することが大切です。

認知症の人に見られる勘違いや苛立ちの例²⁾



シャンプーとリンスを
間違える



歯磨き剤と
フェイスウォッシュを
間違える



目がかすむために
話している最中に
何度も目をこする



会議中に話がよく
聞こえないために
見当違いの受け答えを
したりする

認知症の人の表情の認識について⁴⁾

認知症の人に様々な表情の写真を見せ、写真の人がどのような気持ちかを質問したところ、「幸福」の表情はよく認識できていました。

一般的に、「肯定的な感情」は「否定的な感情」よりも良く認識されます。

認知症の人は、症状が重くなっても表情を認識して反応できるため、非言語的、感情的なコミュニケーションが有用です。

適切な介護を行うために、介護する側も介護される側も穏やかな気持ちで過ごすことが大切です。

認知症の人が認識しやすい表情



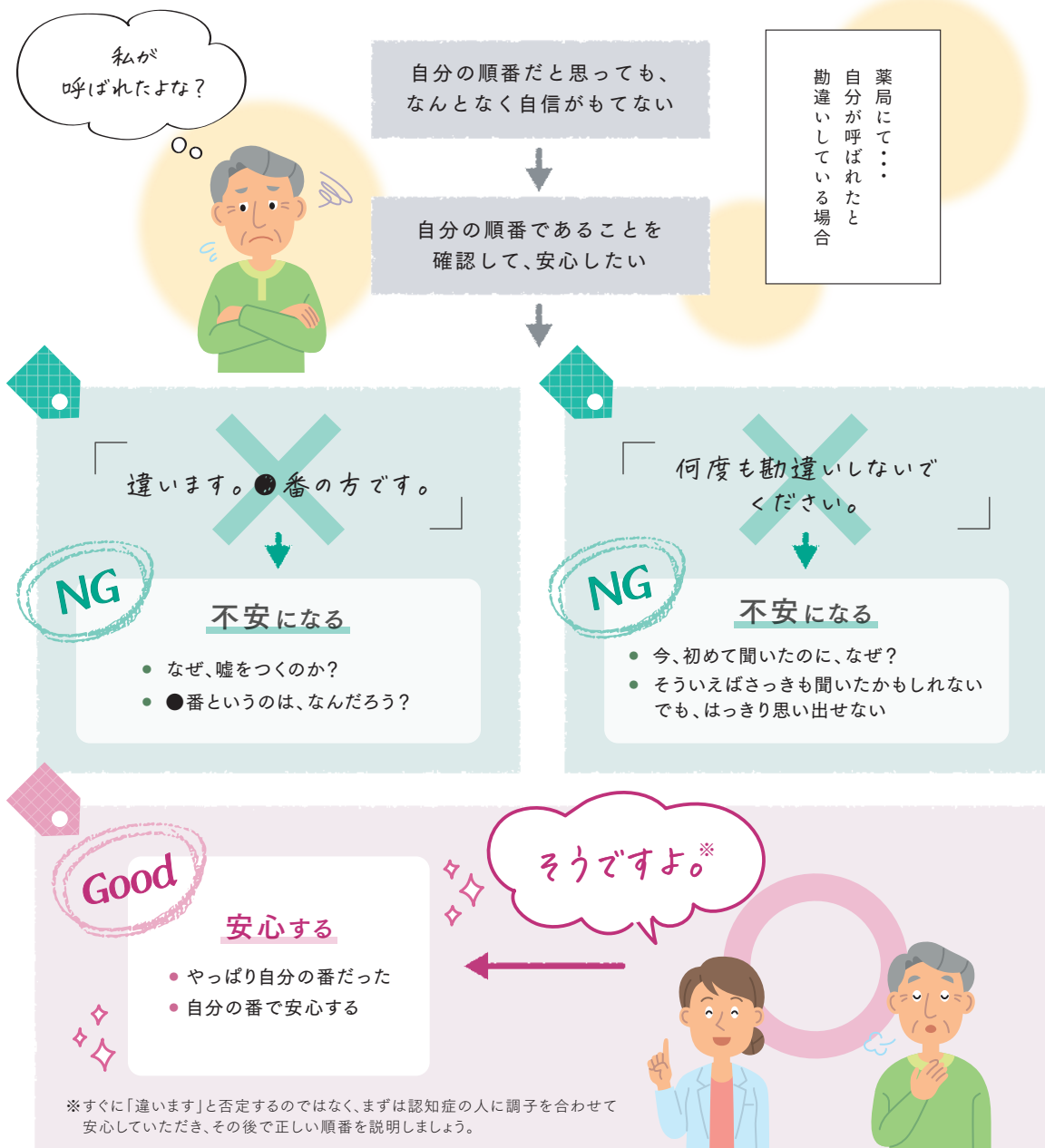
「幸福」の表情＝笑顔
はよく認識できます。

認知症の人の不安をやわらげる対応をしましょう

認知症の人は、認知症であるという自覚は病気の進行とともに失われますが、「何かおかしい」という不安を感じています。

現実を理解させなければと思い認知症の人の言い分を否定したり、叱ったりするのではなく、まずは、認知症の人の気持ちを想像してみましょう。認知症の人に調子を合わせることで、認知症の人に精神的に安心していただくことができ、不安をやわらげることができます。

不安をやわらげる対応の例¹⁾



認知症の症状のレベルに合った対応を心がける

認知症の人との意思疎通のためには、話し手側の話し方を工夫する必要があります。

「叱るような言い方をしない」、「ゆっくりと、穏やかに話す」、「大きめの声で話す」などの工夫をしましょう。

認知症の人との話し方のコツ¹⁾

○ ご家族と共通の言葉を使う

- ご家族と同じ言い方を心がけましょう。

例 「ズボン」と「パンツ」、「お皿」と「食器」など同じものを違う名称で呼ぶのを避けましょう。

- 認知症の人の「自分像」に合わせて呼び方を統一することも大切です。

例 子どもがいることを認識している場合：「おかあさん」
若いころのつもりでいる場合：「花子さん」 など

○ 声の大きさや口調に気を配る

- 聴力が衰えていることも多いので、大きな声でゆっくりと、穏やかな口調を心がけましょう。

○ わかりやすい表現を使う

- 認知症の人の理解度に合わせて、わかりやすい言い方におきかえましょう。

わかりやすい表現の例

① 簡単な言葉で言いかえる

「本日お渡しする〇〇というお薬を朝食後に飲んでください。」

▶ 「朝食後にこちらのお薬を飲んでください。」

② 一度にふたつのことは言わない

「朝食後に〇〇を飲み、夕食後に〇〇を飲んでください。」

▶ 「朝食後に〇〇を飲んでください。」

▶ 「夕食後に〇〇を飲んでください。」

③ 質問は具体的に

「何かお困りのことはありますか？」

▶ 「お薬を飲む時に、何かわからないなと思ったことはありますか？」



尊敬と感謝の気持ちを忘れない

認知症の人に対応する時には、病気を受け入れ、現状に合った対応を心がけることが大切です。認知症の人の「今」を否定するのではなく、「これまで」を認め、認知症の人に感謝の言葉を伝えましょう。

また、「実際に何ができたか」ではなく、認知症の人を「認める」ことが大切です。認知症の人は、感謝されることで、「役に立っている」、「周りの人に必要とされている」という実感が深まります。

認知症の人に対応する時に心がけたい3つのポイント¹⁾

○ 感謝や尊敬の気持ちをもつ

- 認知症の人がこれまでにしてきたことを忘れずに対応しましょう。相手への感情は態度に現れ、認知症の人にも伝わります。

○ 健康だったころのイメージにとらわれない

- 現状を否定するのは、周りの人にとってマイナスです。気になる言動は、全て病気が原因だということを理解しましょう。

○ 感謝の言葉をこまめに伝える

- 日ごろから、「認知症の人を認めている」ことを示す言葉を用いるよう心がけましょう。

心がけたい話し方の例

① 感謝する

「定期的に受診してくださりありがとうございます。」

② 誉め言葉をかける

「素敵なカーディガンですね。」

③ 過去の仕事などからめて意見を求める

「娘が〇〇で困っているんです。どうやって注意すればよいでしょうか？」



1)高室成幸, もう限界!! 認知症の家族を介護するときに読む本, 2015.

2)三宅貴夫, 堀内園子, 内田勝也, 病気を生きぬく1〈医師〉〈看護師〉〈患者・家族〉による認知症の本, 2010.

3)遠藤英俊, よくわかる認知症Q&A 知っておきたい最新医療とやさしい介護のコツ, 2012.

4)A Guaita, et al. Arch Gerontol Geriatr. 49 Suppl 1:135-146, 2009.

認知症の人とご家族との コミュニケーションツールと認知症情報サイトのご紹介

コミュニケーションツール

認知症の人向け



ご家族向け



認知症情報サイト

認知症情報サイト

Assist

アシスト

認知症治療に携わる医療関係者や認知症の人やご家族向けに
役立つ情報を豊富にご用意しています。

アクセス方法



1 第一三共エスファコーポレート
サイトの「医療関係者向けサイト」を
クリックしてください。

2 「医療関係者向けサイト」TOP画面の
中段「認知症情報サイト Assist」の
バナーをクリックしてください。

3 AssistのTOPページからさまざまな
コンテンツをご覧いただけます。



エスファ 認知症アシスト

検索

<https://med2.daiichisankyo-ep.co.jp/dementia/>



お問い合わせ
合わせ先

第一三共エスファ株式会社 お客様相談室
☎ **0120-100-601**
受付時間: 平日9:00~17:30 (土・日・祝日・弊社休日を除く)
フリーダイヤルが
ご利用いただけない場合 ☎ **03-3548-2218**

夜間・休日
緊急時の
お問い合わせ先

日本中毒情報センター 第一三共エスファ受付
☎ **0120-856-838**
受付時間: 平日17:30~翌9:00及び土・日・祝日・弊社休日



第一三共エスファ株式会社

<https://www.daiichisankyo-ep.co.jp>

EPALL1T07201-1
2024年7月作成